

## 第9回穂波地区人権講演会

### みんなで守る子どもの人権

### ～みんなで考えよう「心」と「体」の境界線～

### 事業報告

#### 1 事業実施の目的

穂波まちづくり協議会は、人権が尊重され、明るく、豊かな活力あるまちにすることを目指しており、差別やいじめをなくし、思いやりのある住み良い穂波にしていくため、人権講演会を実施します。

#### 2 全体計画

企画名	みんなで守る子どもの人権～みんなで考えよう「心」と「体」の境界線～		
講師名	道園亜希さん(助産師・デートDV専門相談員 出張専門助産院 唯～yui～院長)		
実施場所	会場名：穂波交流センター 大ホール		
	住 所：福岡県飯塚市秋松408		
実施日	令和7年9月7日(日) 10:00～11:30		
参加者	62名	参加料	なし
参加者属性	一般10人 自治会長・まち協理事15人 学校教職員5人 行政26人 保育所・幼稚園教職員6人		
講師プロフィール	フリーの助産師として、助産院や自宅での出産サポートや、産前産後ケアを行っています。大学在任中は、性に関する教育を研究し、学会発表や論文執筆、地域と連携して性教育パンフレットを作成されています。現在は幼児から保護者、教員等幅広い対象者に、人権をベースとした包括的性教育を講演されています。		

#### 参加者感想

子ども達を守る為にも、社会で子ども達を守り育てていくという気持ちは大切だと思います。とても勉強になりました。加害者が実は被害者であり（学びを受けてこれなかったという意味で）そこに声を届けるためにできることを考えていきます。（60代）

新鮮な話だったが、基本的で大事な内容だった。(60代)

NOを「受け入れる」と「受けとめる」は違うのは分かりますが難しいですね。(70代)

性教育の伝え方は難しいと思っていたが人権(同意)と思うと伝えることができるかなと思った。ありがとうございました。(40代)

親・子でも人権自分の気持ち押し付けは出来ない。やりとりを大切に私は高齢者、子どもは大人からだと心を持ちながら生きていかなければと考えました。(70代)

昨年度より職場研修でにじいろCAPさんのワークショップを職員も子どもたちも受けています。今回のお話と重なることも多く、何度聞いても自分自身の言動を振り返ることができています。子どものNOの受け取り方、子どもがNOを言える環境、子どもが感情を伝えることができるための言葉かけ、絵本の読み聞かせなどを、子どもの性教育をしっかりと考えながら取り組んでいきたいと思いました。とても学ばせていただきました。また道園先生のお話を聞きたいです。ありがとうございました。(40代)

具体的に大人側として子どもを守れる方法を知ることが出来ました。私自身も我が子へもみんなが自分を大切にするために実践していきます。(50代)

今日の内容を家族、こどもとはなしたいと思います。ありがとうございました。(50代)

2回目のお話 前回よりも理解が深まった。本日の新聞一面に教員の性犯罪過去最多という救いようなない記事がありました。実名で父親を訴える勇気ある女性も少しずつ増えてはいますが声を出せない原因をもっと知り支援出来たらと思っています。ありがとうございました。(60代)

とても優しい語り口調が、この講演会に参加している全て人を包み込むように思えました。この世に生まれてきた一人ひとりの人権を色々な視点からお話していただき、とてもいい時間となりました。人の人権を守るには、まず自分を大切にすること大前提だと思いました。(60代)

大人として子どもへ伝える・伝え方がわかりやすく学べました。今後子どもとの関わり方について改めて考えながら関わって行きたいと感じました。(40代)

スライドの資料があったら良かった。とても勉強になりました。(50代)

とてもわかりやすいお話でした。境界線って人それぞれなのでお互いに伝え合うことが大切だと再確認しました。気持ちを伝えあえる対等な関係づくりが大切だと思いました。(50代)

今後の業務に活かすことができるお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。最近・・・自分を大切にできていなかったことに気がつきました。「NO」と言ってもらえる関係。大切ですね。今日のお話をもとに考えていきたいと思います。(50代)

道園さんの心を伝わる内容でした。ぜひ彼女の野心(包括的性教育の学校での実践と導入)を応援したいです。行政も子どももまんなかを進める一つの方法としてとりこんでいただければと思います。(60代)

NOと言える勇気を大切にしたいと思った。NOと一緒になぜかを伝えた方がいいと思う。知らないことが多くたくさん学べました。ありがとうございました。(70代)

「同意」って大切だと思いました。同意をする側、受ける側、共にスキルが必要ですが、特に受ける側のスキルは難しいと思います。NOと言えない関係性は多くの人間関係の中にあるようにおもいます。(60代)

職員研修で話をしてほしいと思った。子どもは自分の気持ちがわからない、大人はNOを受け入れられない、そんなケースが本当にふえてる。まずは大人が今日の講演会の内容を知って理解しておくべきだと思った。(30代)

「心地よい関係。対等な関係」という言葉が印象的でした。そして友達の間だけでなく、夫婦でも、親子でも大事なんだと改めて考えました。今日の講演会に参加して学べて良かったです。一つ気になったのは、からだの大事な部分を「水着」と言われてましたが、何かで読んだときは「体操服(夏の)」でした。男女の水着の形が違うからかなと思いました。(50代)

相手の立場を立つ、ということについて、今日はさらに考えを深めることができたような気がします。子どもの立場になって物事をとらえ言葉にできる、行動でき自分でありたいと思いました。良いお話気づきをありがとうございました。

「1988.8.9 女子高生コンクリート詰め殺人事件」

史上最悪の少年犯罪と呼ばれた事件を思い出します。被害にあわれた高校生を想うと本当につらい。希望を断たれた40日間だったと思います。

北海道旭川でおきた事件もそう。完全に自由と心と身体をうばわれ、絶望の中で命までもうばわれる若い命の事を思い出しました。本当にいたたまれない気持ちになります。(60代)

イヤと言えるようになったのは最近です。もっとはやくにこの話を聞けていたらいいと思います。イヤと言えるようになって本当の気持ちを言えるようになって、今はとても安心して(不安なく)生活できています。道園先生ありがとうございました。(60代)

子どもとの関係を考えさせられました。今日からは教えていただいたことを実践していきます。相談される大人になれるようにこれからも学びたいとおもいます。(50代)

子どもの成長に関わる者として、本日の内容は大人としてしっかり心を整理するきっかけとなりました。わかっているようで、わかっていないと反省させられるところ多くありました。大変勉強になりました。ありがとうございました。（50代）

「境界線」のこと具体的に学ぶことができました。対話すること、同意について改めて必要、重要なことだと感じました。ありがとうございました。（50代）

大変参考になりました。さっそく自分自身に試していこうと思います。大変おそまきながらではありますが、ありがとうございました。（70代）

若い職員向けに研修してもらえたらよいと思います。わかりやすい内容だった。今までの人権講座と違ってよかった。（50代）

今は子育てが終わり反省することもあります。今は孫との関係の中で今日学んだことを活かしていきたいと思います。子どもの権利について考える良い機会になりました。今日の講演の中で特に同意の考え方について参考になりました。（70代）

簡単に孫・子どもに対等な関係で接していない事に気付かされた。途中休憩をいれられた方がよいかも・・・（70代）

大変勉強になりました。（70代）

又、近いうちに行ってください。大変勉強になりました。（70代）

（あなたの為の支配行動 愛情の押し売りは人権侵害）など 子どもの反応を見ることの大切さを考えて行動出来たらいいなと思いました。（70代）

今まで受けた講演で一番わかりやすく 心にぐっとくる内容でした。（60代）

第9回穂波地区人権講演会

# みんなで守る子どもの人権

～みんなで考えよう「心」と「体」の境界線～

はっきりと「ノー」と言えない子どもの視点に立って、子どもを守るために、周りの大人が何をなすべきか、一緒に考えていきましょう。



と き 令和7年 9月7日(日曜日)

10時～11時30分 (受付9時30分)

ところ 穂波交流センター大ホール

講師 道園 亜希 さん

助産師・デートDV専門相談員  
出張専門助産院 唯～yui～ 院長

参加費無料

申込不要

託児あり※

※託児(0歳～未就学児)希望の場合は、8月28日までに下記連絡先へお申し込み下さい。



手話通訳あります

主催：穂波まちづくり協議会 自治会連合会穂波支部  
NPO法人人権ネットいづか 飯塚市

連絡先・問い合わせ先：

穂波交流センター (東、江藤)

TEL(0948)24-7458 FAX(0948)24-7460

NPO法人人権ネットいづか

TEL & FAX(0948)24-7582



